

磯辺シャークス 3年ぶり5回目

くりくり少年野球

第37回くりくり少年野球選手権大会(毎日新聞社、くりくり少年軟式野球連合会主催、西武鉄道、TBSテレビ、スポーツニッポン新聞社、全日本軟式野球連盟後援)は27、30日、埼玉県所沢市の西武フリスportsームで開催される。初優勝を目指す代表・磯辺シャークス(千葉県美浜区)の二出川龍スコアラ―(43)と次男の翼選手(11)は特別な思いで大会に臨む。龍さんの祖父の元バ―リ―ク審判部長、二出川延明さん(故人)が第1回大会の決勝戦で球審を務めていたからだ。

二出川スコアラ―と次男・翼選手 曾祖父と同じ舞台へ

第1回大会で決勝球審務める

第1回大会の閉会式後に西武所沢球場で記念撮影する二出川延明さん夫妻と孫の龍さん(二出川龍さん提供)



「俺がルールブックだ」という言葉で抗議をほねつけた逸話が残り、増玉真所沢市の西武フリスportsームで開く。龍さんは初め、1979年7月26日の決勝戦は西武所沢球場(当時)で行われ、7歳の龍さんは初めて野球の試合を観戦した。翌日の毎日新聞は「(1)は特別な思いで大会に臨む。龍さんの祖父の元バ―リ―ク審判部長、二出川延明さん(故人)が第1回大会の決勝戦で球審を務めていたからだ。」と報じた。

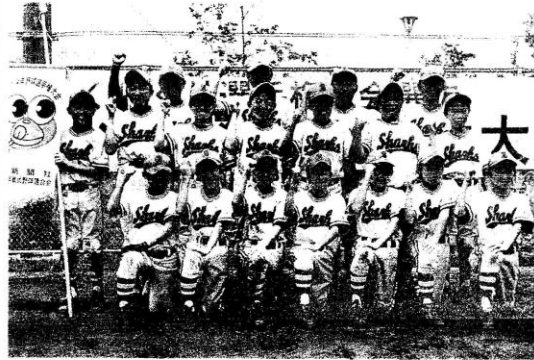


初優勝を目指す二出川君(左)と龍さん

二出川さんの白手袋がサツと上がり、77歳の閉会式後、延明さんとは思えない張りのある声で撮影した記念写真が撮られた。龍さんも腕を真上に向け、高い声で「ヤッジしていたのが印象的だった」と話す。これを機に野球を始めた龍さんは、延明さんからキャッチボールを教わった。「選手や父にはとても厳しかった祖父ですが、初孫の私にはとても優しくなす翼君も「いいピッ

スポーツちば

- | | | |
|-------|-----|----|
| 監督 | 大川 | 仁義 |
| コーチ | 和渡 | 義周 |
| スコアラ― | 二出川 | 龍年 |
| 背番号 | 氏名 | 学年 |
| 10 | 越智 | 6年 |
| 1 | 二出川 | 6年 |
| 2 | 鈴木 | 6年 |
| 3 | 北田 | 6年 |
| 4 | 大川 | 6年 |
| 5 | 増田 | 6年 |
| 6 | 渡辺 | 6年 |
| 7 | 曾中 | 6年 |
| 8 | 川西 | 6年 |
| 9 | 田田 | 6年 |
| 11 | 安田 | 6年 |
| 12 | 北澤 | 6年 |
| 13 | 中三 | 6年 |
| 14 | 大長 | 6年 |
| 15 | 近中 | 5年 |
| 16 | 安田 | 5年 |
| 17 | 本間 | 5年 |
| 18 | | 4年 |
| 19 | | 4年 |
| 20 | | 5年 |



チングでチームの役に立ちたい。全員野球で優勝したい」と話し、曾祖父と同じ決勝戦の舞台に立つことを誓っている。「森本英彦」チームに敗れ、惜しくも準優勝に終わった。磯辺シャークスは3年前の決勝戦で福岡の大川義仁監督(41)は「もう一つの優勝を目指して頑張りたい。3年前よりも力は落ちるが、千葉地区予選で優勝したことが自信になっている。伸びしろは大きい」と意気込んでいる。

3年前は準優勝

目立った選手はいませんが、猛練習で大舞台を勝ち取りました。目指すは先輩越えです。

メッセージ

※数字は背番号で10は主将。メッセージは監督またはコーチの一言。